

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 <small>かごしまとうざいかんせんどうろ</small> 鹿児島東西幹線道路 一般国道3号 <small>かごしまとうざいどうろ</small> 鹿児島東西道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	起点： <small>かごしまけんかごしましたがみ</small> 鹿児島県鹿児島市田上8丁目 終点： <small>かごしまけんかごしましうえあらたちょう</small> 鹿児島県鹿児島市上荒田町	延長	3.4km		
事業概要					
鹿児島東西道路は、九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道及び指宿スカイラインの結節点となる鹿児島ICと接続し広域ネットワークを形成するとともに、中心市街地へのアクセス機能の強化、重要港湾鹿児島港との連結による物流効率化の支援や交通混雑の緩和による円滑な都市内交通の確保を目的とした事業である。					
H13年度事業化		H12年度都市計画決定		H14年度用地着手	
H17年度工事着手					
全体事業費	約650億円	事業進捗率	29%	供用済延長	0.4km
計画交通量	23,600～54,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 2.3 (残事業) 3.7	総費用 ： (残事業)/(事業全体) 292/522億円 (事業費：283/513億円) (維持管理費：9.2/9.6億円)	総便益 ： (残事業)/(事業全体) 1,074/1,180億円 (走行時間短縮便益：881/958億円) (走行経費減少便益：114/130億円) (交通事故減少便益：79/92億円)	基準年 ： 平成23年	
感度分析の結果					
【事業全体】 交通量：B/C=2.0～2.4（交通量±10%） 事業費：B/C=2.1～2.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.1～2.5（事業期間±20%）			【残事業】 交通量：B/C=3.2～3.9（交通量±10%） 事業費：B/C=3.4～4.1（事業費±10%） 事業期間：B/C=3.4～4.1（事業期間±20%）		
事業の効果等					
①広域ネットワークの形成					
<ul style="list-style-type: none"> ・高速バス（鹿児島北IC～鹿児島中央駅間）の所要時間の短縮 ・鹿児島IC～鹿児島港間の所要時間の短縮 					
②交通混雑の緩和					
<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島東西道路の整備による交通混雑の緩和 ・鹿児島IC～中洲通り交差点間の所要時間の短縮 					
③交通安全性の向上					
<ul style="list-style-type: none"> ・死傷事故件数の減少 					
④救急医療活動の支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・日置市から第3次救急医療施設（鹿児島市立病院）までの救急搬送を支援 ・救急医療活動のアクセス時間の短縮 					
関係する地方公共団体等の意見					
鹿児島市長をはじめとし構成される鹿児島東西・南北幹線道路建設促進期成会より積極的な整備促進の要望を受けている。（平成23年7月14日）					
県知事の意見					
「対応方針（原案）」案の「継続」については、異存ありません。引き続き、早期完成に向け、所要の予算を確保されたい					
事業評価監視委員会の意見					
審議の結果、事業継続					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					

沿線地域の人口は横這い。並行する国道3号の交通量は横這いで推移しており、朝・夕のラッシュ時には依然として交通混雑（混雑度:1.91）が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成22年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約29%であり、そのうち用地進捗率は100%に達している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、事業効果を早期発現できるよう、引き続き工事等の進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

トンネル掘削に伴い発生するシラス土を吹付コンクリートの材料として採用することで材料費と発生土の低減によりコスト削減【約0.45億円】

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上事業の効果、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。